

(様式)

令和5年度 「総合的な探究の時間」 指導計画書

学校番号	26		学校名	屋代南		高等学校	名称	サイエンスコミュニケーターになろう				
課程	全日		制									
学年	3			学 科	普通・ライフデザイン 科			生徒数	17	人	単位数	1 単位
コース				コース				時間数	35 時間			
目 標		(1) 様々な事象に対して好奇心をもち、その事象を科学的、数学的に見たり考えたりする力を養う。【思考力・判断力・表現力】 (2) 科学的な知識や技術を通して、積極的に社会と関わる方法や態度を学ぶ。【知識・技能】 (3) 社会人になるための準備として、自ら考え行動できる力を養う。【学びに向かう力、人間性】										
内 容		(1) 科学的な事象や、事象を通して考えたことなどを他者と共有することで、科学を通じたコミュニケーション方法を学ぶ。 (2) 身の回りの製品や生物に対して個人テーマを設定し、それについて仕組みの理解を深め再現性をもって科学的な視点での発表を行う。特に、普段から目にしているが仕組みを知らないものに着目し、その再現や改良を目指す。										
学期	時間	月	日	曜日	時 限 時間帯	内 容		指導方法	備 考 (教材、場所等)			
						単 元	各回の学習内容					
1	1	4	14	金	6時限	探求入門	オリエンテーション	全体活動	講堂			
	2	4	21	金	6時限		サイエンスコミュニケーターとは	講座全体での活動	理科講義室			
	3	4	28	金	6時限		サイエンスコミュニケーターとは	講座全体での活動	理科講義室			
	4	5	12	金	6時限	課題を見つける	日常生活と科学技術との関わりを知る	個人・グループ活動	理科講義室			
	5	5	26	金	6時限		日常生活と科学技術との関わりを知る	個人・グループ活動	理科講義室			
	6	6	2	金	6時限	科学とは何か	基本的な実験に課題を設定し、結果を記録する	講座全体での活動	理科講義室			
	7	6	9	金	6時限		結果を再現し再現性の意義を考える	講座全体での活動	理科講義室			
	8	6	16	金	6時限	調査研究 ・目的設定 ・先行研究 調査 ・手法計画	個人テーマ設定	個人・グループ活動	理科講義室			
2	9	6	26	金	5時限	分析 ・計画 ・実行 ・記録 ・評価 ・改善	個人テーマ設定	個人・グループ活動	理科講義室			
	10	7	3	金	5時限		科学に関するテーマを設定し先行研究を探る	個人・グループ活動	理科講義室			
	11	7	4	月	5時限		科学に関するテーマを設定し計画する	個人・グループ活動	理科講義室			
	12	7	5	火	3時限	発表準備 ・論理的な 発表とは	科学に関するテーマを設定し探求する	個人・グループ活動	理科講義室			
	13	7	6	水	3時限		科学に関するテーマを設定し探求する	個人・グループ活動	理科講義室			
	14	7	7	木	6時限		科学に関するテーマを設定し探求する	個人・グループ活動	理科講義室			
	15	7	14	金	6時限		科学に関するテーマを設定し探求する	個人・グループ活動	理科講義室			
	16	7	21	水	6時限		科学に関するテーマを設定し探求する	個人・グループ活動	理科講義室			
	17	9	8	金	6時限		科学に関するテーマを設定し探求する	個人・グループ活動	理科講義室			
	18	9	15	金	6時限		科学に関するテーマを設定し探求する	個人・グループ活動	理科講義室			
	19	9	29	金	6時限		科学に関するテーマを設定し探求する	個人・グループ活動	理科講義室			
	20	10	6	金	6時限		科学に関するテーマを設定し探求する	個人・グループ活動	理科講義室			
	21	10	13	金	6時限		科学に関するテーマを設定し探求する	個人・グループ活動	理科講義室			
	22	9	20	金	6時限	発表準備 ・論理的な 発表とは	学習発表会に向けての準備	個人・グループ活動	理科講義室			
	23	10	27	金	6時限		学習発表会に向けての準備	個人・グループ活動	理科講義室			
	24	11	10	金	6時限		学習発表会に向けての準備	個人・グループ活動	理科講義室			
	3	25	11	17	金	6時限	学習発表会に向けての準備	個人・グループ活動	理科講義室			
26		12	1	金	6時限	発表	学習発表会に向けての準備	個人・グループ活動	理科講義室			
27		12	15	金	3時限		発表	全体活動	上山田文化会館			
28		12	8	金	4時限		発表	全体活動	上山田文化会館			
29		12	8	金	5時限	発表	全体活動	上山田文化会館				
30		12	8	金	6時限	発表振り返り さらなる探求 に向けて	相互評価・反省・さらなる探求	講座全体での活動	理科講義室			
31		12	8	金	6時限		相互評価・反省・さらなる探求	講座全体での活動	理科講義室			
32		12	15	金	6時限		相互評価・反省・さらなる探求	講座全体での活動	理科講義室			
33		12	22	金	6時限		相互評価・反省・さらなる探求	講座全体での活動	理科講義室			
34		1	12	金	6時限		相互評価・反省・さらなる探求	講座全体での活動	理科講義室			
35		1	19	金	6時限		相互評価・反省・さらなる探求	講座全体での活動	理科講義室			
評価の観点・方法		(評価の観点) (1) 科学と自らの生活の関わりについて、主体的に考えることができているか。 (2) 科学的な事象やアンケートの結果を検討し、日常生活に活かす努力をしているか。 (評価の方法) (1) 探究活動に積極的に関わっているか。										